

令和7年度 安城市行政改革審議会(外部評価) 次第

令和7年10月24日(金)

午後1時30分～午後3時45分

へきしんギャラクシープラザ 302会議室

- 1 経営管理課長あいさつ
- 2 外部評価の進め方について
- 3 外部評価 <Bグループ>
 - (1)図書情報館ICT活用事業
 - (2)文化財啓発事業



外部評価の進め方について (1事業50分)



①担当課による事業説明 【10分】

- ・「事業評価シート」に基づきご説明します。

②担当課職員との質疑 【25分】

- ・担当課の説明を踏まえ、質疑応答により議論を深めていただきます。
- ・質疑応答中も評価シートのご記入を進めてください。

③必要性や有効性等の観点から、事業を評価 【15分】

- ・評価シートをご記入ください 【3分】
評価にあたっては、「対象事業の論点に対する評価区分について」を参考にしてください。
➡3分経過後に、評価シート①、②のうち、評価シート①を回収します。
- ・評価に関するご意見をお伺いします 【10分】
- ・評価結果の発表を行います 【2分】



評価の視点

評価視点	必要性	行政関与の必要性、初期事業目的の達成状況、総合計画や市民ニーズとの関連性
	有効性	目標に対する進捗状況
	効率性	目的及び目標に対する事業実施方法の適正化、事務の効率化・簡素化
	公平性	事業規模及びサービス水準の適正化、受益と負担のバランス

評価区分（「対象事業の論点に対する評価区分について」をご参照ください）

評価区分	内 容
拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要があるもの※
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続するもの
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの
廃止	事業を廃止するもの

※実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等

3



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

【当日配布資料】評価シート①（評価結果集計用）

R7.10.24

令和7年度 安城市行政改革審議会（外部評価）
評価シート①

委員名	〇〇 〇〇
事業No.	3
事業名	図書館 ICT活用事業
評価 該当するものに〇印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止

・評価シート①は評価結果集計のため、評価シート記入開始から3分経過後に回収します。



【当日配布資料】評価シート②(評価コメント記入用)

R7.10.24

令和7年度 安城市行政改革審議会(外部評価)
評価シート②

委員名	〇〇 〇〇
事業No.	3
事業名	図書情報館ICT活用事業
評価 該当するものに〇印	拡充 ・ 要改善 ・ 現行どおり ・ 縮小 ・ 廃止
《評価コメント》 ・評価理由をご記入ください。 ・具体的な取組や方法等がありましたらご記入ください。	
事業をより効果的に行うためのアイデアがございましたら、ご記入ください。	

市側の説明について該当するものに〇印をつけてください。

事業説明は分かりやすかったですか。	分かりやすい ・ 普通 ・ 分かりにくい
質疑応答では、回答は明快でしたか。	明快である ・ 普通 ・ 明快でない

運営その他、お気づきの点がございましたらご記入ください。

外部評価終了後、この評価シートは机の上に置いたままお帰りください。

・評価シート②へ、評価結果に加えて評価コメントのご記入をお願いします。

・質疑応答の時間中も、適宜ご記入いただいて結構です。

・点線より下にアンケートがございますので、ご協力をお願いします。

・外部評価終了後、評価シート②は、机の上に置いたままお帰りください。

【当日配布資料】 対象事業の論点に対する評価区分について

対象事業の論点に対する評価区分について		
事業番号	3	事業名 図書館ICT活用事業(利用者用パソコンデータベース)
論点	PRイベントなどでデータベースを利用された方からは好意的な意見を聞いています。図書館資料として有効なコンテンツであると思います。 別事業である電子書籍では、市内学校にもPRを行うことで利用実績が非常に伸びました。データベースについても、同様のPRを行うことを考えています。PRイベントについても、今年度実施するメディア・リテラシー講座でデータベースの操作方法だけでなく、活用方法を含めた内容を説明します。	
評価区分	評価内容 ※下記は論点に対する評価区分の例を示しています。	担当課の考え方 ※評価区分の考え方をまとめた評価区分に付けた場合に該当する評価区分の考え方を記入しています。
拡充	事業規模(事業量、予算、人員)を拡大し、事業内容を大幅に充実させる 【例】データベース数を拡大し、提供する。	
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要がある(実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等) 【例】コンテンツの内容を精査し、データベースの数を維持する。新たなPR方法を検討し、利用促進を図る。	○
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続する 【例】データベース数については現行どおりとし、市民へのPRを継続する。	
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの 【例】データベースの同時利用が可能な端末数やデータベース数を、現在提供しているデータベースの利用状況に応じて縮小する。	
廃止	事業を廃止する 【例】本事業を廃止する。	

・各事業における、論点に対する評価区分のイメージを記載しております。評価の際の参考にしてください。

